

令和5年度

松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会

会議資料

- 令和4年度～令和5年度の運営状況…………… 1～3
- 令和6年度運営方針（案）…………… 4
- 松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会委員名簿…………… 5

松江ホーランエンヤ伝承館

令和4年度～令和5年度の運営状況

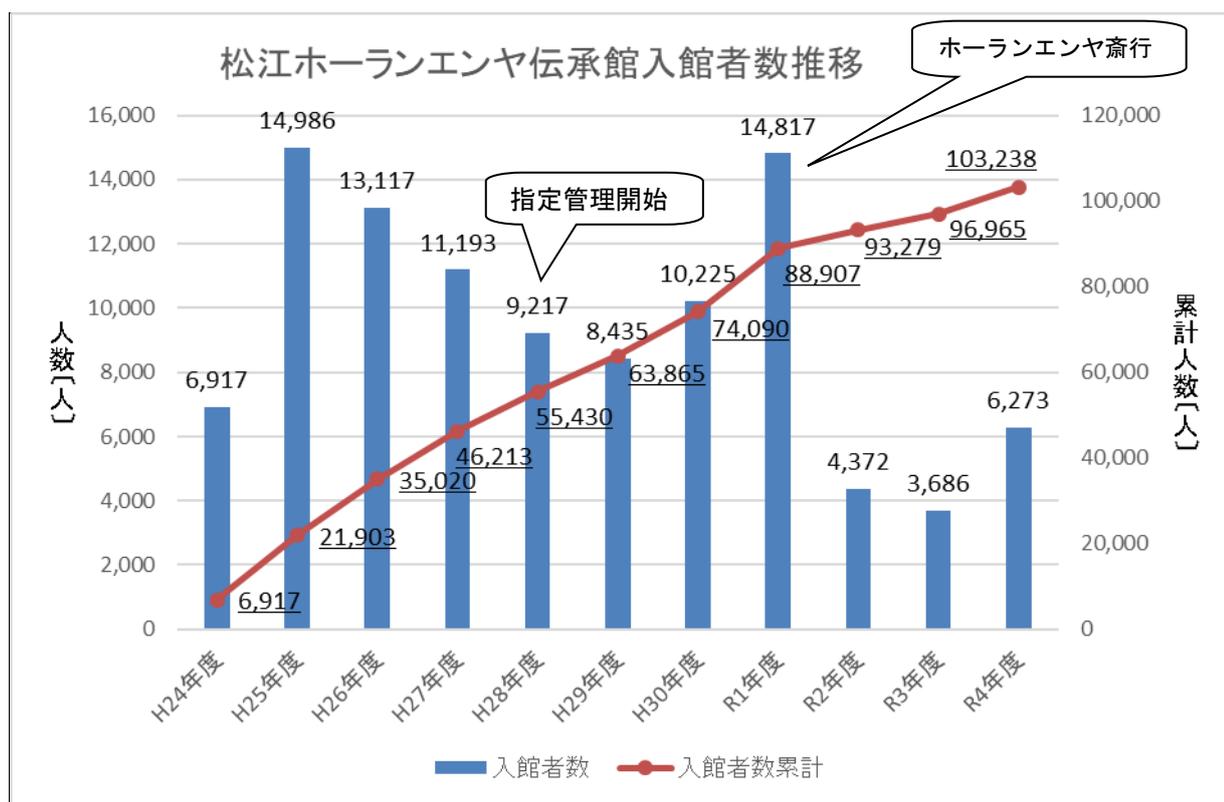
(1) 運営形態

●指定管理者による運営（一部は市の直営）

- ・指定管理者 株式会社さんびる
- ・指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日
- ・業務分担 学芸部門を除いた業務全般（施設管理、受付・案内、広報・誘客など）
- ・令和5年度の管理経費予算（単位：千円）

人件費	2,382
事務・事業費	710
施設維持管理費（光熱水費・修繕費等）	1,799
合計	4,891

(2) 観覧者数



●令和4年度実績：6,273人（対前年170.2%）

→新型コロナウイルス感染拡大による行動制限が緩和されていったことなどにより、前年度に比べて入館者数は増加した。しかしながら、特に夏に新型コロナウイルスの感染が拡大したことにより、感染拡大前までの人数には至らなかった。10月には入館者数10万人を達成した。

●令和5年度実績（4月～12月）：4,918人（対前年 94.8%）

→新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類感染症」に移行となり、行動制限等もなくなったことから、入館者数はコロナ禍と比べると増加しているが、昨年度よりは若干減少している。昨年度は10月に10周年記念イベントがあり、1日で290名の来館があったため。松江歴史館からの誘導人数については、昨年度と比べて増加している。

（3）主な取り組み

①教育普及

●松江城授業プロジェクト「松江城及び松江歴史館見学」（松江市教育委員会主催）

※全市立小・義務教育学校6年生を対象に実施

- 1) 児童向けリーフレット「松江ホーランエンヤ伝承館でホーランエンヤについて学ぼう！」を全員に配布
- 2) 松江ホーランエンヤ伝承館を見学した小学校
 - 令和4年度見学数 12校 431人
(八束学園・内中原小・持田小・来待小・忌部小・宍道小・大野小・古江小・朝酌小・島根小・母衣小・本庄小)
 - 令和5年度見学数 13校 552人
(八雲小・大野小・出雲郷小・内中原小・古志原小・雑賀小・宍道小・忌部小・揖屋小・島根小・朝酌小・本庄小・来待小)

●出前講座

学校教育課を通し、松江市内の小学校へホーランエンヤについて松江歴史館職員が出前講座を行う旨を周知した。竹矢小学校（3年生）、朝酌小学校（3年生）から総合的な学習の一環として講座の申し込みがあり、職員が説明を行った。

●インタビューの対応

美保関中学校1年生、浜山中学校1年生、玉湯学園7年生からインタビューの依頼があり、職員が対応をした。

②展示

○令和4年度

令和4年10月22日(土)に開催した松江ホーランエンヤ伝承館開館10周年記念式典にあわせ、多目的ホールは陶山広之氏の切り絵の展示替えを、廊下は大正4年以降令和元年までのそれぞれの神幸祭の写真を展示した。

○令和5年度

令和3年3月に記録選択された「松江のホーランエンヤ」の概要について紹介したパネルを展示室内に設置した。

③情報発信

ホームページに大正4年以降に実施されたホーランエンヤの写真を掲載し、情報発信を行った。

④新型コロナウイルス感染症への主な対応

○令和4年度

基本的感染防止対策を実施することを前提としたうえで、次のような取り扱いを行った。

- ・新型コロナウイルス感染症対策のための入場者数の制限については行わない。ただし、密になるような場合は入場者の状況を考慮し、適宜、管理者の判断により入場制限等の対策をとる。
- ・入場者の連絡先等の把握は不要とする。
→これを受け、館でも緊急時連絡先の記入等を10月1日（土）より不要とした。

○令和5年度

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5月8日から5類感染症へ移行したことに伴い、松江ホーランエンヤ伝承館において、令和5年5月8日（月）から次のような取り扱いを行うこととした。

マスクの着用の考え方

- ・来館者及び職員のマスク着用は個人の判断に委ねる。

館内の感染対策

- ・受付等のアクリル板の設置は、当面継続する。
- ・消毒機器の設置は、当面継続する。ただし、来館者の判断を基本とする。

松江ホーランエンヤ伝承館

令和6年度運営方針（案）

引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行っていく。同時に、効果的な広報を行い、入館者数の確保に努める。

また、市民に親しまれる施設を目指し、関心や理解が深まるような取り組みを引き続き行っていく。

教育・普及

※松江市

引き続き松江城授業プロジェクトでリーフレットの配布・見学案内を行う。

展示

※松江市

- 多目的スペースの展示替えの検討
 - ・令和7年度に向けて、多目的スペースの展示替えの検討を行う
- ホーランエンヤ VR の活用、着付体験の実施

利用促進

※指定管理者

- HP、SNSの積極活用による施設情報の提供
- 営業訪問・広報による利用促進
 - （県内外の旅行会社、観光関連施設などへ訪問予定）
- 館内案内表示などの随時改善
- 年パス購入促進キャンペーン実施（年1回）
- 誘客イベントの開催
- 宿泊施設、観光施設等との連携
- 松江歴史館入館者の伝承館への誘導強化

施設管理

※指定管理者

- 委託業者と連携し、設備機器・庭園管理など仕様に沿って適切に維持管理を行う。
修繕する際は、松江市と協議した上で実施する。

※松江市

- 中庭の権伝馬船の部分修理を行う。

接客・対応

※指定管理者

新型コロナウイルス感染状況に注視しながら感染予防に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設管理を行っていく。またスタッフ研修や半期ごとに、施設アセスメントを実施。利用者満足の上の向上の為に運営業務見直しや、改善活動の行動計画を立て、質の高い接客を目指していく。

松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会

委員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	備 考
委員長	浅沼 政誌	島根県教育庁文化財課 古代文化センター主任研究員
副委員長	松浦 俊彦	松江商工会議所専務理事
副委員長	松浦 哲次	伝承ホーランエンヤ矢田保存会長
委員	飯塚 真敏	伝承ホーランエンヤ馬潟権伝馬保存会副会長
委員	野津 照雄	伝承大井ホーランエンヤ保存会長
委員	稲場 久和	福富ホーランエンヤ保存会長
委員	古藤 弘巳	大海崎伝承ホーランエンヤ保存会長
委員	安部 登	元松江郷土館長

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日